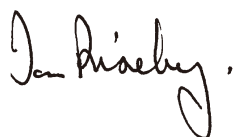


2017年～2018年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリー：
変化をもたらす

2017～18年度 国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー 氏




『雨引山楽法寺』 写真提供：河合 隆 会員

2017～2018年度(第60期 小原年度)

7月第3例会プログラム

7月20日(第2903回) VOL. 3

- 点 鐘
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 理事・委員長事業方針発表
- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- ロータリーソング

- 会 長
- 奉仕の理想
- 親睦活動委員会
- 理事・役員・委員長
- S.A.A
- 出席委員会
- 会 長
- それこそロータリー

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー)承認 日本国内247番
創立 1958年2月14日(昭和33年)
承認 1958年3月7日(昭和33年)

事務局：土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F)
U R L <http://www.tsuchiura-rc.org>
例会場：L'AUBE Kasumigaura

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 小原 芳道 幹事 平島 隆之

TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830
E-mail office@tsuchiura-rc.org
毎週木曜日 12:30～13:30

★ ★ ★ ★ ★ ★
60th
ANNIVERSARY

第60期 事業方針発表

会員組織委員会

委員長 沼田義雄

委員 堀越恒夫、山本和男、坂本史郎

事業計画

ロータリーの最大の目的は、人類に対する奉仕であります。当委員会としてはその目的に則り、会員増強、職業分類、会員選考、ロータリー情報の3委員会構成されておりますので、強力に連携をとりながら推進してまいります。

また、会員の増強も大事な分野なので、安定した会員数60名に対し、10%程度上乗せを目標にし頑張りたいと思います。



ロータリー情報委員会

委員長 坂本史郎 副委員長 飯山孝之

委員 鈴木 實、小倉史義

事業計画

RIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」に沿い、新会員にロータリアンとしての矜持と自覚を身に付けられる様お手伝いをする。

1. 新会員に、ロータリー会員としての責務及び奉仕活動に関する基礎知識を説明するためのオリエンテーションを入会時に実施する。
2. 入会3年未満の会員に各種委員会による奉仕活動やロータリー情報を提供し、合わせて理事・役員並びに会員との親睦を図るため「STARプログラム」いわゆるSTAR (Special Training for Action in Rotary) 委員会を年2回開催します。



クラブ管理運営委員会

委員長 竹内 崇

委員 高橋宏成、大場博美、鈴木敏之、大内美幸、円城寺紘征

事業計画

1. クラブの効果的かつ円滑な運営のサポート。
2. クラブの会合（例会等）の手配
3. クラブ内すべての会合の企画、運営

委員長所見

構成する5委員会が連携し、会員がロータリーを体感できる場である例会をより魅力あるものにするを目的といたします。

- 各委員会ごとにテーマを掲げ、目的達成に向け、邁進してまいります。
- ・出席委員会 ～例会出席は、会員としての最小限の奉仕～
 - ・親睦活動委員会 ～奉仕と親睦はロータリークラブの2本柱～
 - ・プログラム委員会 ～魅力ある例会構成の心臓部～
 - ・クラブ会報委員会 ～会員間のコミュニケーションの充実～
 - ・公共イメージ委員会 ～魅力あるロータリー情報を内外に発信～



出席委員会

委員長 高橋宏成 副委員長 相藤晃一

委員 吉成弘樹、山村一仁、中島祥博、片岡康治

事業計画

1. 年度内に出席率100%例会の開催を目指す。
2. 無断欠席を無くすために事前連絡表を活用する。
3. メークアップを推奨し、例会出席率の向上を図る。
4. メンバーは早めに会場入りし、歓迎ムードを演出する。
5. 欠席が多い会員に対してのお声かけをする。
6. 前年度出席率100%の会員を表彰する。
7. 各委員会との連携を密にする。
8. 60周年祝いを前面にプレゼンテーションをする。
9. 例会終了後お見送りを励行する。

委員長所見

各会員が、改めてロータリーの出席に関する、定款・細則を再確認できる機会をつくり、各会員の例会に関するご意見・ご要望をアンケートや対話で収集し、その結果を各委員会と共有化し一緒に考え、「明るく楽しく魅力ある」例会開催が出来る様にサポートして参ります。



親睦活動委員会

委員長 大場傳美 副委員長 倉持恵美
委員 安藤真理子、藤田雪絵、富田裕一、原田博夫、説田和彦、相藤晃一、中島祥博、小野信直



事業計画

「明るく、楽しい、例会を」

クラブ内外のロータリアンの親睦を深めるために、メンバー9名で協力し活動します。

1. 来訪者、会員の出迎えを行う。
2. ゲスト卓話者に対して、幹事・SAA・プログラム委員会等と協力し、歓迎する。
3. 家族懇親会等、クラブ内行事を会長・幹事・関係委員会と相談の上、企画実行する。
4. 地区、分区行事等への参加をする。
5. 誕生祝、結婚記念祝、入会記念祝を行う。
6. 各同好会等に参加しやすいように企画・立案する。

委員長所見

クラブ内で育まれる友情は、その活動やプロジェクトを行う原動力となります。そのためには会員同士が全員と知り合えるような工夫が必要です。

当クラブは女性会員も増えつつあり、会員の年齢も各世代ごとにおりますので、多様な活動が可能であると考えられます。

会員の皆様の相互理解が深められるよう、会員同士の交流の機会を数多く設けていきます。

プログラム委員会

委員長 鈴木敏之 副委員長 高木博昭
委員 高橋信之



事業計画

1. 会長方針に基づき、明るく楽しい例会を目標にプログラムを作成する。
2. 会員卓話の機会を多くする。
3. 特別月間では、そのテーマの理解に努める。
4. 第一例会で、誕生祝、結婚記念祝、入会記念祝、ロータリーの友の紹介をする。
5. 週報に例会予定を掲載する。

委員長所見

ロータリーの目標である、親睦と奉仕を促進するプログラムとして

1. 会員同士一層深く知り合い親睦が深まるようなもの
2. ロータリーを理解させるもの
3. 広く各業界や地域社会を知り、奉仕活動の資料となり得るもの

等を計画していきます。

クラブ会報委員会

委員長 大内美幸 副委員長 菊池信子
委員 石塚ひろみ



事業計画

会員相互のコミュニケーションの更なる充実を図る為、下記の事業を展開する。

1. クラブの財産である記録媒体として、正確かつ読みやすい会報（週報）を発行する。
2. 会報を通じて、クラブ内外の情報をタイムリーに発信する。
3. 会員の関心が高まるように、常に誌面の充実を目指す。

委員長所見

ロータリーの基本である奉仕の精神が伝達できる会報である事は前提条件ではあるが、その中で写真一つに関しても卓話される方の表情・雰囲気等、静止画からでも『より身近に、より親しみやすく』感じていただける撮影を心掛けていき、会員の皆様が楽しみにしていただける会報作成ができるように努力していく所存です。あわせて、会報を通じて会員の方々のコミュニケーションの一助になるよう内容の充実に努めてまいります。

公共イメージ委員会

委員長 円城寺紘征 副委員長 泉 安里
委員 富田裕一、平島隆之 (Cico)



事業計画

1. 「ロータリーの友」を活用し、ロータリーの理解を図る。
2. 会員企業のメディアを通じてロータリーの活動情報を発信する。
3. ロータリー情報館、ホームページの活用。

委員長所見

ロータリーで充実感を得るために土浦ロータリークラブ60年の伝統の下、各会員、企業が公共イメージを高めるよう活動することを期待します。